

# 情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2018 年 4 月 21 日作成

|  |  |
|--|--|
| 研究課題名  | 卵巣悪性腫瘍に対する妊孕性温存治療後の生殖内分泌機能に関する検討   |
| 研究の対象  | 2000 年 1 月 1 日～2016 年 12 月 31 日の間に卵巣悪性腫瘍に対し妊孕性温存治療として手術療法・化学療法を施行した症例  |
| 研究目的<br>・方法  | 妊孕性温存治療として手術と化学療法を行った後の生殖内分泌機能（生理周期の変化や妊娠や不妊治療の有無について）を検討する  |
| 研究期間   | 許可日～5 年間   |
| 研究に用いる<br>試料・情報の<br>種類   | 診療録からの既存の情報及びアンケート調査で得た情報<br>① 診療録から使用する情報：<br>背景情報（年齢、合併症、婚姻/パートナーの有無、受診契機、紹介元）、<br>治療時の妊娠分娩歴、月経歴、手術情報、診断名、化学療法の情報、<br>治療後の月経歴、妊娠歴、不妊治療歴、ホルモン値<br>② アンケート調査による情報：<br>治療後の月経歴、妊娠歴、不妊治療歴、病気や生殖活動への意識  |
| 外部への<br>情報の提供  | なし   |
| 外部からの<br>試料・情報の<br>取得と保管   | 本研究は本施設及び研究協力機関にて行うため、研究協力機関からの診療録情報を取得して行う。本施設及び研究協力機関から取得した情報は、個人を特定できる情報を削除した上、研究用の番号（識別番号）を付けて取り扱う。個人と識別番号を結びつける対応表を作成し管理する。対応表及びその他の情報等はパスワードを設定した電子ファイルで、横浜市立大学附属市民総合医療センター婦人科のインターネットに接続できないパソコンで保存する。また、アンケート調査用紙はファイルに綴じて施錠できる場所で保管する。パソコン及びファイルは、研究関係者以外がアクセスできないよう管理保管する。 |
| 研究組織   | 研究代表者：横浜市立大学附属病院 産婦人科 祐森明日菜<br>研究責任機関：横浜市立大学附属市民総合医療センター 婦人科 北川 雅一<br>研究協力機関：横浜市立大学附属病院 産婦人科 祐森 明日菜 他 10 施設  |
| <p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p> |  |
| <p><b>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</b></p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9<br/>横浜市立大学附属病院 産婦人科（研究責任者）祐森 明日菜<br/>電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-787-2800</p>  |  |